

2019年度 特色ある教育実践（学校・園、若手教職員）助成 募集要項

新潟日報社

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 新潟支部

I 事業の趣旨

「未来社会を切り拓くための資質・能力の一層確実な育成」や、「知識の理解の質を高めた確かな学力の育成」、「豊かな心や健やかな体の育成」など、「学びの質」を重視した教育実践が求められています。

各学校・園においては、学校・園が一丸となって、課題を明確にし、その解決に向けた創意工夫ある教育実践を展開して、確かな成果を積み重ねていくことを期待します。

また、とりわけ未来の教育の担い手でもある若手教職員においては、創意工夫ある教育実践を通して確かな指導力を身に付け、学校・園の教育の充実に寄与することを期待します。

この事業は、「特色ある教育実践」の論文募集を通して、「助成」と「顕彰」という形で、日々熱心に教育実践に取り組んでいる学校・園、若手教職員を応援するとともに、「広報」により、県教育の一層の発展に寄与することを目的としています。

II 主催

新潟日報社

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 新潟支部

III 論文について

1 内容

- ・ 「I 事業の趣旨」を踏まえ、学校・園または若手教職員が、具体的な研究主題を設定して取り組んだ「特色ある教育実践」について、論文にまとめることとします。
※ 応募論文は、未発表のものに限ります。

2 募集対象

- ・ 県内国・公・私立の幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校、中・高一貫校、高等学校、特別支援学校、及びそこに勤務する若手教職員とします。
※ 教育関係機関、教職員で組織する教育研究団体等は対象外です。

3 部門

(1) 学校・園部門

- ・ 学校・園として取り組んだ「特色ある教育実践」の論文を募集します。
※ 応募は、1校・園1編とします。

(2) 若手教職員部門

- ・ 若手教職員が、個人で取り組んだ「特色ある教育実践」の論文を募集します。
※ 応募は、1人1編とします。同一校から、複数名の応募ができます。
※ 「学校・園部門」に応募した学校・園に在籍する教職員も、応募することができます。
- ・ 次の二つの部があります。
 - ① 20歳代の部（論文を応募する年度の4月1日現在で、20歳代の教職員）
 - ② 30歳代の部（論文を応募する年度の4月1日現在で、30歳代の教職員）

4 論文の書き方

(1) 様式

- ・ 指定の原稿用紙はありません。
- ・ 文字は常用漢字、現代かなづかいを使用して下さい。
- ・ 論文は、A3判（縦置き）で横書き、1ページを24字×43行×2段組、文字ポイントは12ポイント、明朝体で作成して下さい。
1ページ目の、左右の段のそれぞれ5行を使って、応募部門名・主題・副題・校名・校名（「若手教職員部門」の場合は、応募者名と年齢）を記載してください。
図表や写真等を載せる場合は、24字×43行×2段組のスペースの中に納めて下さい。カラー、白黒は問いません。
※ 「別紙 論文の書き方」及び、これまでの「特色ある教育実践校・園等受賞論文集」を参考にして下さい。
- ・ 資料は、A3判（縦置き）とし、紙面の使い方は自由です。

(2) 枚数

- ・ 「学校・園部門」、「若手教職員部門」ともに、論文4ページ、資料2ページとします。

5 論文の提出の仕方

- ・ 論文と資料をセットにしたものを5部作成し、1部ずつ、紙帯（紙テープ等）留めをして下さい。
※ 印刷は、片面印刷にして下さい。
※ ホチキスやクリップ等は、使用しないで下さい。
- ・ 論文と資料は折らずに、「報告書」と一緒に郵送して下さい。

6 受付期間・提出期限

(1) 「申請書」

- ・ 受付期間は、5月7日から12月12日まで（必着）です。

(2) 「論文」・「報告書」

- ・ 受付期間は、申請書提出以降、12月19日まで（必着）です。
※ 「申請書」と「報告書」の様式は、公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部のホームページからダウンロードして下さい。ホームページは、「新潟教弘」で検索して下さい。

7 提出先

〒950-0087

新潟市中央区東大通2丁目5-8 東大通野村ビル8階

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 新潟支部「特色論文係」

IV 活動助成

- ・ 「申請書」を受理後、申請した全ての校・園、若手教職員に対して活動費を助成します。
- ・ 助成金額は、「学校・園部門」は5万円、「若手教職員部門」は1万円です。公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部の役員・参事が持参します。

V 審査

1 審査員

大学教授等（2名） 新潟日報社（2名） 教育関係者（2名）
N I E 推進協議会（1名） 公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部（1名）

2 審査対象

- ・ 提出された論文について審査します。
- ※ 資料は、論文を読む際の補助として使用し、審査対象にはしません。

3 表彰等

(1) 学校・園部門

最優秀賞 1編（入選助成額 40万円）
優 秀 賞 2編（入選助成額 30万円）
優 良 賞 15編（入選助成額 20万円）

(2) 若手教職員部門

- ① 20歳代の部
入選 5編（入選助成額 5万円）
- ② 30歳代の部
入選 5編（入選助成額 5万円）

※ 両部門とも、各賞の該当数は、審査結果により変更となる場合があります。

※ 受賞校・園、若手教職員には、2月から3月にかけて、新潟日報社と、公益財団法人日本教育公務員弘済会新潟支部の役員、参事が、賞状及び入選助成金を贈呈に上がります。

4 発表

- ・ 2月に、新潟日報紙上において、「学校・園部門」の受賞校・園と、「若手教職員部門」の受賞者を発表します。
- ・ 「学校・園部門」の最優秀賞・優秀賞については、新潟日報の教育面で紹介します。

VI その他

- ・ 提出された論文と資料は返却いたしません。
- ・ 入選校・園、入選者は、次年度の応募をご遠慮願います。次の応募は、2年目以降にして下さい。
入選されなかった学校・園、若手教職員は、引き続き次年度も応募することができます。ただし、2年続けて入選されなかった場合は、内容の如何に関わらず、次年度（1年間）の応募をご遠慮願います。
- ・ 各校・園にお届けする論文応募のポスター、「新潟教弘のしおり」も参考としてご覧下さい。
- ・ 不明な点がありましたら、下記にお問い合わせ下さい。
公益財団法人 日本教育公務員弘済会 新潟支部「特色論文係」
電話 025-244-0025

論文の書き方

(1) 学校・園部門

A3判 縦置き (縦長)

		24字×43行		24字×43行
行				
1	学校・園部門	主題	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
2		副題	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
3				
4				校・園名 校・園長名
5	(1行目に応募する部門を記載)			
6	(本文は6行目から)			
	(1段)	(2段組)	(2段)	
40				
41				
42	(24字)			(24字)
43				

(2) 若手教職員部門

A3判 縦置き (縦長)

		24字×43行		24字×43行
行				
1	若手教職員部門	主題	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
2		副題	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
3				
4				校・園名 応募者名 (年齢)
5	(1行目に応募する部門を記載)			
6	(本文は6行目から)			

※ 6行目からは、「学校・園部門」と同じ。